

# みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/09/20 Vol. 11 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## 印西市議会/平成 15 年第 3 回定例会報告 ( 1 )

いつもお世話になっております。印西市議会第 3 回定例会 ( 9 月議会 ) が、現在開催されております。今回は、現在開催中の定例議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心に報告していきたいと思っております。

9/12 ( 金曜日 ) に、個人質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

### 1. 印西市基本構想\*と今後の市政運営について

印西市基本構想\*に対する基本姿勢には以下のような記述が見られる。

「平成 12 年 4 月から施行された地方分権一括法により、国や県からの権限委譲がすすみ、全国均一の自治体運営から、地域の事情を反映した責任ある施策の選択・実施とその積み重ねによる独自の自治体運営が求められる時代になってきている。」

現在、印西市第 2 次実施計画\*\*の 2 年目にあたるわけだが、現在までを振りかえり、この基本構想の理念は今後どのような形で施策として表れてくるのだろうか。

( 1 ) ( 印西市第 2 次実施計画\*\*における目標とする ) 平成 14 年度末の年別人口および世帯は、人口 66000 人、世帯人口 20600 世帯であったが、15 年 8 月現在、この数値を下回っている。現状の数値をどのように分析し、今後、具体的にどのような施策で印西市に人を呼びこんで行くのか。

( 回答 / 市長 ) 第 2 次実施計画\*\*にお示ししてあります目標人口につきましては、平成 12 年 9 月で議決をいただきました「印西市基本構想 2001 ~ 2010」の中に記載している、構想の最終年度であります平成 22 年度の目標人口 84000 人を基に算出したものでございます。議員ご指摘の通り、平成 15 年 8 月現在の人口と比較しますと約 5000 人の開きがあるわけでございます。この人口が目標値に達しない大きな要因といたしましては、近年の都心地区における地価の下落等により都心部はもとより、その周辺地区の開発が急激に進み、これに伴って通勤などの利便性がより都心への回帰が進んでいることが考えられます。また、年代別の人口構成から考えますと、生産年齢の中心であり住居の購入等が盛んな年代である 20 代後半 ~ 40 代前半の人口が年代別人口の中でのしめる割合が低くなっておりまして、この点につきましてもひとつの要因になっているものと考えられます。このように人口の増加や生産年齢の落ち込みなど、当市を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、このままの状況で推移いたしますと将来計画にも影響をおよぼすことが懸念されます。このようなことから、今後の課題としましては、生産年齢の中心であります 30 代から 40 代にかけてのみなさんが、「当市へ新たな住民」として流入し、さらに定住していただけるような「安心して住み続けられるような賑わいのあるまち」を創り上げていかなければならないと考えております。このためには、今後は東京近郊で人口増加している自治体や、また当市と同じような悩みを抱えている自治体などの施策等を調査・研究しながら、若い世代として関心の高い「子育て支援の推進」「住環境の整備」「雇用の場の確保」などを中心とした施策を考え、魅力あるまちづくりをすすめてまいりたいと考えております。

### ( ぐんじとしのりより / 解説 )

人口が増えないと何が将来、問題となるか？一言で申し上げて、**財政に及ぼす影響**が問題となります。市民の皆様の税金は財政運営の基盤となり、市政運営、まちづくりのありかたを決定する上で、非常に重要なものです。今は、まだ働き盛りの世代が印西市を支えて

いるので、財政問題は顕在化していませんが、同じようなニュータウンを抱えた多摩ニュータウンや千里ニュータウン（大阪）の現状を今、十分に把握しておく必要があると思います。

私は、この質問（「印西市の人口が想定人口に達していないのは、なぜか」）を通して、印西市が自ら策定した「基本構想」に対する責任を問うてみたいと考えました。

しかし、今回の質問に対する市長答弁（「人口が目標値に達しない大きな要因として、通勤などの利便性により都心回帰現象がみられる。」）にもありましたが、北総公団線の高運賃が人口の伸び悩みの主な理由・原因であることを印西市では考えているようです。勿論、北総公団線の高運賃が原因であることは十分に理解できますが、私は人口が伸び悩んでいる理由を行政が「通勤の利便性や都心回帰現象」という言葉のもとに、北総公団線の運賃だけを理由にしてほしくありません。

では、運賃が下がれば人口が増えるのか？人が来るのか？私はそうは思いません。確かに、今、住んでいる人達が転出することは減るとは思いますが、決して人口が増える確証はどこにもないからです。言葉を変えて申し上げると、「印西市」というこの街が首都圏に住む人達の頭に選択肢として入っているのか？残念ながら「印西市」は多くの人に認知されているとはいえません。これは「魅力あるまちづくり」ができていないからです。「魅力あるまちづくり」ができていれば、人々に認知され、人が集まってくるはずです。

私は、今回の質問（再質問や再々質問）を通して、印西市に、都心回帰現象という言葉で隠れ蓑にせず、行政はしっかりと地域の事情を反映した責任ある施策と市政運営を行っていただきたいということを伝えました。

加えて、市の実情をしっかりと分析し、施策が重要なのは勿論当然であるが、市のイメージアップのために、行政側自らが市外から人を呼びこむ為に何が重要なのかをしっかりと考えるように伝えました。

人口がふえなければ、将来計画にも影響を及ぼす事が懸念されます。市長答弁にも見られましたように、30代から40代にかけての年齢層のみならず、20代の若者が集い、語れ、「当市へ新たな住民」として流入し、さらに定住していただけるような「安心して住み続けられるような賑わいのあるまち」を皆さんと共に創り上げていかなければなりません。皆様のご協力も宜しくお願い致します。

\* 印西市基本構想（2001～2010）は、以下の将来都市像を目標としております。

### 人と自然が笑顔でつながるまち - いんざい

人を思いやり、自然を守り、ものを大切にして、市民が積極的・創造的に健康な生活が営める、自助、互助、公助による安全・安心なまち

\*\* 印西市第2次実施計画（平成14年度～16年度）

基本構想の将来都市像を実現する為の3ケ年で取り組むべき施策及び事業を掲載。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回は9月末～10月初旬の発行を予定しております。次回も、引き続き9月議会の報告を行ってまいります。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。よろしくご意見申し上げます。

ぐんじとしのり